

2007.10.31

---

こんにちは。男女共同参画 WG です。

紅葉が美しくなる時期です。毎日忙しく仕事をなさっているみなさん、たまには散歩でも楽しまれてはいかがでしょうか。

さて、今回も本学での男女共同参画に関するニュースをお届けいたします。

---

### 講演会「大学が男女共同参画に取り組む意義」を開催しました！

---

去る 10 月 19 日（金）、松江キャンパスにおいて、元内閣府男女共同参画局長の名取はにわ氏を講師にお迎えし講演会を開催いたしました。会場には 70 余名の教職員が集まり、名取氏の分かりやすく説得力のあるお話を聞きました。講演内容は、遠隔地授業システムを使って出雲キャンパスにも伝えられました。

講演で名取氏は、日本の男女共同参画の現状、科学技術分野における女性の状況について、統計的なデータを具体的に示しながら解説されました。私にとって印象的だったのは、約 80%の男性研究者には配偶者がいるのに対し、女性研究者の約 40%が「未婚」であるということ、男性研究者の平均子ども数は約 2 人であるのに女性研究者のそれは約 1 人であるということでした。結婚・子育てと研究の両立が、女性にはまだまだ難しいことが示唆されます。

名取氏は、日本が国際的に重要な役割を担おうとするなら男女共同参画の推進は不可欠と強調されました。優秀な女性研究者が埋もれてしまわないよう、大学が取り組むべきことは多くあります。具体的には、女性研究者のロールモデルを育成するためのポジティブ・アクションなどが挙げられます。

参加された方からご感想もいただいています。↓↓↓

名取氏の講演は、数値データを元に説明されたこともあり、明確で、わかりやすく、また、ウィットも富み、受講者から笑い声も聞かれるなごやかな講演でした。

特に、「研修等参加者推薦の際、女性は初めから対象者として入っていない」で、何度も参加の意思を伝え、「やっと女性も対象者であることに気付く」内容は、そのまま過去私が経験してきたことであり、苦笑いしてしまいました。

また、「男女共同参画」は、女性のためだけでなく、男女共に生きることであることをしっかりと話されたのも印象的でした。

この方をはじめ、参加されたみなさんは、それぞれの立場から、大学での男女共同参画推進の取り組みの重要性を再認識されたようです。

---

子育て中の教職員の方へ！ ママ友・パパ友になりませんか？

---

今号のメルマガの文責は、今年 3 月に第 1 子を出産した法文学部教員の片岡となっておりま。じつは私、2005 年度～2007 年度まで科研費の研究プロジェクトをかかえていたのですが、今年度は育児のため計画通りに研究を進められなくなり、どうしようかと思っていました。しかし、学術国際部・研究協力課の方に相談し、

文部科学省に問い合わせさせていただいたところ、今年度予定していた研究計画を来年度にまるごと延期することができました。こうしたことが可能であるということは、実際に経験してみても初めて知りました。

子育て中の教職員の方は、私のように、子育てと仕事を両立するための情報を求められていると思います。そこで、男女共同参画 WG では、そのような情報交換のための子育てネットワークを学内でつくりたいと考えました。

とりあえず最初は、メーリングリストをつくって情報交換しあいたいと思います。そのうちメンバーどうし、子連れで集まったりして親睦を深め、将来的には、子どもを預け合ったり保育園の迎えを助け合ったり、サポート・ネットワークとして機能するようにしたいと思います。

お子さんをお持ちの方（これからお持ちの予定の方も）、メーリングリストに登録していただけますか。子どもの年齢は問いません。  
ママ友・パパ友になりましょう！

登録していただける方は、法文学部の片岡 (kataoka@soc.shimane-u.ac.jp) までご連絡ください。お待ちしております！

なお、以前からのメルマガでもお伝えしておりますように近々学童保育 WG が立ち上がります。今回お声をかけている子育てネットワークはもっとインフォーマルなものを考えていますが、必要に応じてこの学童保育 WG と連携しながら活動する予定です。

---

#### 島根大学の男女共同参画の現状について…

---

今年 5 月 1 日現在の状況についてみてみますと…

まず職員については、課長相当職以上は、事務系で男性 25 名女性 0 名、技術技能系で男性 2 名女性 0 名、医療系で男性 3 名女性 4 名となっています。一方、一般職員では、事務系で男性 29 名女性 31 名、技術技能系で男性 29 名女性 16 名、医療系で男性 33 名女性 326 名、教務系で男性 7 名女性 5 名です。女性の昇進の例が少ないことが分かります。

教員については、法文学部では男性 59 名女性 9 名、教育学部では男性 78 名女性 8 名、医学部では男性 122 名女性 40 名、総合理工学部では男性 119 名女性 2 名、生物資源科学部では男性 81 名女性 6 名となっています。全体では女性教員は 11.8% で、とても少ないです。

この数値、みなさんはどのように思われますか？

---

このメールマガジンについてのご意見・ご質問等は

kyodo-sankaku@jn.shimane-u.ac.jp

まで お願いいたします。

---

★ お願い ★ このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者の方には届かない設定がされているところがあるようです。

そのような場合は、代表の方が講座内のスタッフ全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、たいへんお手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸甚です。